

# いちめんのなのはな

令和2年9月18日(金)  
こうちょう すず き まこと  
校長 鈴木 誠

## 「のぞいてみよう 三河湾に暮らす生き物の世界～貝の解剖と海藻の押し藻～」 - 6年生理科 9月15日(火) -

6年生が、講師にBio Garden With 代表の宮田賢輔様を招いて、「のぞいてみよう 三河湾に暮らす生き物の世界～貝の解剖と海藻の押し藻～」の授業を受けました。

環境省登録環境カウンセラーである氏による、一人一人に観察用の「アサリ」や押し藻にする「クビレツタ(氏が栽培!海ブドウ等の商品名で流通)」を初めとする豊富な



アサリを開いて出水管を探してみよう

準備や分かりやすいお話に導かれて、子供たちは最後まで真剣に授業を楽しみました。授業後の子供たちの感想(一部)を下に紹介します。

「生き物たちがいるから今(人間が)生きているんだと思った。今、これを書いている間に、いろいろな生き物が消費したり生産したり掃除(浄化)したりしているんだと思うと、この動きが1日だけでも止まったら生態系がくずれていくんだと思った。気持ち悪いとかで避けない。いろいろな生き物が(生態系の)一つ一つの柱となって生きていると思った」

「山と海は対になっていると思っていただけで、とても大きなつながりがあって驚いた。僕たちはいろいろな生き物に支えられて生きていたんだと思った。海の生き物の中でもそれぞれの役割があってお互いが支え合っているのがすごい」

「今までは食べるばかりだったけど、今日、海の生き物や川の生き物などがどうやって暮らしているかどんな役割をしているかを知って、海をもっと大切にして生き物に感謝したいと思った」

子供たちが「生き物」「海」「山」「生態系と人間」などをどのように見つめ、考え、行動していくかがととても楽しみです。



できあがり楽しみ。クビレツタの「押し藻」

## 意欲的に意見を発表して学びを深める

- 5年1組 社会科 9月17日(木) -

5年1組が社会科の授業で「食料品の輸入を続けるべきか」について、そのよさと問題点を視点に、考えを発表し合いました。

よさを主張する子供たちからは「いろいろなものが食べられる」「安い」「日本にないものを食べられる」などの意見が、問題点を指摘する子供たちからは「日本の物が売れなくなる」「働く人が減る」などの意見が出されました。挙手が絶えることがないことだけでも素晴らしいと思いますが、発表が進むうちに、これまでに学んだ栽培漁業や養殖漁業と結びつけた意見を発表する子も現れ、学びの深まりを感じさせました。



意見に耳を傾け、絶えることなく挙手

## 学級活動についての授業研究会 - 9月17日(木) -

学級活動の進め方について、講師を招いて職員が研修を行いました。授業を提案してくれたのは、3、4、5組、2年1組、3年1組でした。



係を分担したり、他の子を応援したり

### 3、4、5組「えがお祭りをひらこう」

子供たちは、ルールを守りながら「釣り」と「輪投げ」で互いに楽しませ合い、「みんなとするから楽しい」を味わいました。係として任された分担を確実にやり、「ありがとう」「すごい(拍手も)」と声を掛け合ったり、他の子がゲームをしている間に辛抱強く待ったりした子供たちの姿を講師の先生に褒めていただきました。担任の先生の、子供たちの意欲を引き出した準備や子供たちの活動や関わり合いを温かく見守る姿勢も褒めていただきました。

### 2年1組

#### 「どんなご飯を食べたら元気になるかな」

子供たちは、「元気もりもり」「体ぐんぐん」「体いきいき」の食べ物についてよく理解していました。バランスの良い献立作りを楽しむ子供たちの姿が印象的でした。栄養教諭と担任が十分に打ち合わせて、計画的に子供たちにはたらきかけた成果ではないでしょうか。この日の授業についても、一人一人に準備された8枚ずつの「食べ物カード」と子供の発言やつぶやきを大切にする姿勢等を講師の先生に褒めていただきました。



目玉焼きは「赤」だから…



全員が、先生が読み聞かせる本の世界に浸る

### 3年1組「読みたい本を見つけよう」

子供たちの好奇心をくすぐる絵本が、工夫された順番で次々と紹介され、子供たちから「わあ」「へえ」「おもしろい」があふれる授業になりました。担任の先生の読み聞かせに集中したり、積極的に本を手にして読書に没頭したりする子供たちの姿と、それを引き出した担任の先生の授業の進め方や3年1組の子供たちにピッタリの本を豊富に準備したことなどを、講師の先生から褒めていただきました。

## 4年生の仮入部始まる - 9月15日(火) ~ -

4年生が部活動への仮入部を始めました。見学だけではわからなかった、準備や片付けなども経験しながら、これからの2年間に打ち込めるかどうかを見極めてほしいと思います。



「アンダーハンドは…」 バレーボール部

4年生の子供たちの緊張した面持ちやボールを触るだけでもうきうきしている様子だけでな

く、練習の仕方を教えたり手本を示したりする5、6年生の子供たちの真剣な表情も印象的でした。



5、6年生に導かれて 合唱部